

## 幼児教育学科 1年前期 総合科目

1. 地域つくりかえ学
2. キャリアデザイン論
3. English Base
4. ICT ベーシック

## 幼児教育学科

科目名: 地域づくりかえ学			担当教員 氏名: とりまとめ:宮城(社会福祉学科)、岡野(幼児教育学科)、米山(看護学科)ほか						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	前期	総合科目	講義	必修	保育士資格指定科目(必修)			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
主体的に地域の課題を学び、その解決のために必要な目標を設定し、具体的に「ひと・こと・もの」(地域社会)に関わる行動に移し、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高める。						教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」、『私』宣言、地域社会に生きる「私」、実践躬行			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 7. 8.				
C 論理的思考力			【生涯学習力】自ら設定した目標(『私』宣言)に対して、それを行動に移し、「つくり、つくりかえ、つくる」の実践力を持つ。						
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。						
E 自己管理能力			地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。						
G 倫理観			自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。						
F チームワーク・リーダーシップ			【市民としての社会的責任】義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」になる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	70 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	30 %
特記事項: AD教員が、AD学生の評価にあたる。最終レポート「つくりかえレポート」100点+「週フォリオ」各100点の平均点をレポート評価とする。その他30%は「自分づくりをすすめる意欲・態度」で評価する。									
アクティブラーニング要素:									
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 「つくりかえレポート」については、1回目の授業内で説明し提示する。課題レポートは中間と最終の2回提出する。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 課題レポートの評価およびフィードバックはAD教員から行う。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
①【泉学長】富山福祉短期大学で学ぶ意義				4/16 2-101	講義資料をもとに復習	復習60分			
②【宮嶋】ボランティア活動・社会貢献				4/23 2-201	講義資料をもとに復習	復習60分			
③フォトログイニング 学科混合チームでふくたん探検				4/30 Uホール	講義資料をもとに復習	復習60分			
④【竹ノ山】学修可視化ツール:ふくたんICEマトリックス、週フォリオ				5/07 2-201	講義資料をもとに復習	復習60分			
⑤【泉学長】アカデミックスキルズ レポートの書き方				5/14 2-201	講義資料をもとに復習	復習60分			
⑥【長谷川】アカデミックスキルズ 主体的な学びの実践				5/21 2-201	講義資料をもとに復習	復習60分			
⑦【松尾】地域課題発見力とは				5/28 2-201	講義資料をもとに復習	復習60分			
⑧【宮越】アカデミックスキルズ コーチング				6/4 2-201	講義資料をもとに復習	復習60分			
⑨【宮城】アカデミックスキルズ 協働力向上:グループワークの極意				6/11 2-201	講義資料をもとに復習	復習60分			
⑩【高橋】アカデミックスキルズ 効果的なプレゼンテーション				6/18 2-201	講義資料をもとに復習	復習60分			
⑪【学科教員】学生生活をつくりかえる				4/9 4-101	講義資料をもとに復習	復習60分			
⑫【学科教員】夏祭りボランティア 企画・準備(1)				6/25 4-101	講義資料をもとに復習	復習60分			
⑬【学科教員】夏祭りボランティア 企画・準備(2)				7/2 4-101	講義資料をもとに復習	復習60分			
⑭【学科教員】社会人にむけてのつくりかえ(マナー講座)				7/9 4-101	講義資料をもとに復習	復習60分			
⑮【学科教員】卒業生の「つくり、つくりかえ、つくる」に学ぶ				7/16 4-101	講義資料をもとに復習	復習60分			
使用テキスト:				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):									

## 幼児教育学科

科目名: キャリアデザイン論			担当教員 氏名: 島田 勝彰						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	後期	総合科目	演習	選択	保育士資格指定科目(選択必修)			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: ワーク&対話を主とした授業を実施します。									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
自分の実現したいキャリア(将来)について主体的に考え、卒業後の生き方、働き方、学び方について理解している。自分の人生や進路についてポジティブかつナラティブに捉え、周囲に伝える、定期的に更新することができる。						自己効力感 自己分析 将来設計 ナラティブキャリア			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 7. 8				
C 論理的思考力			自身のキャリアについて、主体的かつ論理的に考察できるようになる。						
F チームワーク・リーダーシップ			グループワーク・ディスカッションを通じて、他者との対話ができるようになる。						
G 倫理観			社会人としてどのように職業選択をすることが正しいかを理解する。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	40 %	発表:	36 %	実技試験:	%	その他:	24 %
特記事項: その他は原則出席回数となります。									
アクティブラーニング要素:									
課題解決型学習    ディスカッション、ディベート    グループワーク    プレゼンテーション    実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 期末プレゼンテーション、中間レポートを実施。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:									
授 業 計 画						準備学習(予習・復習等)			
						学習内容	学習に必要な時間(分)		
①イントロダクション(講師紹介・講義概要等)						講義	90分		
②キャリアの基本(生き方・働き方・学び方、生きがいと働きがい等)						講義・ディスカッション	90分		
③自己効力感(自己選択と成功体験)						講義・ディスカッション	90分		
④境界領域におけるキャリア形成(現代型キャリア、プランドハプンスタンス)						講義・ディスカッション	90分		
⑤キャリアデザイン演習(自己分析)						演習・グループワーク	90分		
⑥キャリアデザイン演習(将来設計)						演習・グループワーク	90分		
⑦職業選択と自己実現(社会人基礎力、ナラティブキャリア)						講義・ディスカッション	90分		
⑧プレゼンテーション						プレゼンテーション	90分		
使用テキスト: 「キャリア理論と自己理解」 ※講師側で準備					その他参考文献など:				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 4週目終了後に、中間課題(レポート)があります。									

## 幼児教育学科

科目名: English Base		担当教員 氏名: リュウ エドワード			
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 前期	総合科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:		A native Japanese and native English speaker will implement interactive classes to use and develop basic understanding of English as L2 with language and contextual support in student's L1.			
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード
The objective of this core English course is to develop functional ability and core understandings in the English language, with a focus on leveraging technologies for language access. The course covers essential skills such as grammar, vocabulary, listening, and discussion. The syllabus is tailored to enhance students' capacity to communicate in English across various everyday scenarios and practical applications, incorporating technology as a key tool in this process. Furthermore, the course seeks to cultivate an appreciation for the cultural nuances of the English language.					Basic English Communication Skills Basic Grammar Skills Technology Integration in Language Learning
授業における学修の到達目標					
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 3. 4. 5. 8	
A 知識・理解力		Knowledge of core English concepts will allow students to make statements about themselves, recall events and express intentionality.			
F チームワーク・リーダーシップ		Small groups are integral in facilitating understanding, expressing personal perspectives on select topics, and reflecting on subject-specific content.			
H コミュニケーション力		Communicating clearly is important whether you are communicating with your boss, a colleague, a teacher, or a friend. In language learning unclear, vague communication can lead to misunderstandings. This course will address contextually appropriate tone and register for communication.			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 50 %		レポート: %		発表: 20 % 実技試験: % その他: 30 %	
特記事項: Studying a language often at regular intervals helps to overcome the forgetting curve by revising and recycling the language. Students should keep the language material fresh in their mind by attending classes regularly, completing assignments and undertaking independent study.					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: テストを行う。授業の進捗状況は、クラスの進み具合を踏まえ、フレキシブルに対応する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストとインタビューのフィードバックは、個別に指導する。					
授 業 計 画			準備学修(予習・復習等)		
			学修内容	学修に必要な時間(分)	
① Unit 1: Talking about yourself, Unit 2: Talking about routines, Unit 3: Today I'm wearing...			対象Unitの予習・復習	90分	
② Unit 4: What's happening?, Unit 5: Types of verbs, Unit 6: Vocabulary			対象Unitの予習・復習	90分	
③ Unit 7: How are you feeling?, Unit 8: Vocabulary, Unit 9: Routines and exceptions			対象Unitの予習・復習	90分	
④ Unit 10: Vocabulary, Unit 11: What's the matter?, Unit 12: Vocabulary			対象Unitの予習・復習	90分	
⑤ Unit 13: What's the weather like? Unit 14: Vocabulary, Unit 15: Making comparisons			対象Unitの予習・復習	90分	
⑥ Unit 16: Talking about extremes, Unit 17: Vocabulary, Unit 18: Making choices			対象Unitの予習・復習	90分	
⑦ Unit 19: Using large numbers, Unit 20: Vocabulary, Unit 21: Talking about dates			対象Unitの予習・復習	90分	
⑧ Review			全体の復習	90分	
⑨ Unit 22: Talking about the past, Unit 23: Past events, Unit 24: Past abilities			対象Unitの予習・復習	90分	
⑩ Unit 25: Vocabulary, Unit 26: Irregular past verbs, Unit 27: Vocabulary			対象Unitの予習・復習	90分	
⑪ Unit 28: Telling a story, Unit 29: Asking about the past, Unit 30: Applying for a job			対象Unitの予習・復習	90分	
⑫ Unit 31: Types of questions, Unit 32: Someone, anyone, everyone, Unit 33: Making conversation			対象Unitの予習・復習	90分	
⑬ Unit 34: Vocabulary, Unit 36: Plans and intentions, Unit 37: What's going to happen			対象Unitの予習・復習	90分	
⑭ Unit 38: Vocabulary, Unit 39: Making predictions, Unit 40: Making quick decisions			対象Unitの予習・復習	90分	
⑮ Final Review			全体の復習	90分	
使用テキスト:			その他参考文献など: • English for Everyone: Level 2: Beginner, Practice Book: A Complete Self-Study Program • English for Everyone: English Grammar Guide: A Comprehensive Visual Reference • English for Everyone Grammar Guide Practice Book		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): Making mistakes and expressing yourself is the best way to discover and explore language. Keep up the hard work and let's not only learn about English but also about each other!					

## 幼児教育学科

科目名: ICTベーシック			担当教員 氏名: 浦城 尚武						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	前期	総合科目	演習	選択				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:		情報系専門学校常勤教員の経験を生かし、情報リテラシー教育の授業を行う。							
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード				
近年の医療・福祉の現場において、電子カルテ等をはじめとして急速に情報化が進んでいる。どの現場においても情報の基礎知識は必須能力である。この科目では、コンピュータやネットワークの基本知識を学習し、各種ソフトウェアの基本的な活用能力を演習をとおして修得する。					コンピュータ、ネットワーク、ソフトウェア、ワード、パワーポイント、情報セキュリティ				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリクスで示される番号)		1. 2. 8				
A 知識・理解力			・コンピュータ、ネットワークの基礎知識、情報リテラシーを理解する。 ・Windowsの基礎知識を学習する。						
D 問題解決力			・文書作成ソフト「Microsoft Word」、プレゼンテーションソフト「Microsoft Power Point」の基本操作を修得する。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	20 %	実技試験:	%	その他:	30 %
特記事項: ・上記、「その他」では授業の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。 ・授業外の予習・復習が不可欠であり、アクティブ・ラーニングとして、学生が主体的に関わる意識を持つことを重視する。									
アクティブラーニング要素:									
課題解決型学修      ディスカッション、ディベート      グループワーク      プレゼンテーション      実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業中後半に毎回課題演習を行う。またグループワークによる成果物を数回提出する。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 授業中に出す演習課題については各学生毎にチェックする。またグループワークによる成果物については、グループでの関わり方の結果を伝える。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な時間(分)			
① 情報化社会の現状とセキュリティの基礎知識の理解					情報化社会の現状と課題について調べる	【予習】30分 【復習】30分			
② ビジネスメールの作成とマナーの理解					ビジネスシーンとメールの活用	【予習】30分 【復習】30分			
③ Wordによる文書作成(基本的な機能)の習得					Wordの基本機能を理解	【予習】30分 【復習】30分			
④ Wordによる文書作成(実用的な機能)の習得					Wordの実用的機能を理解	【予習】30分 【復習】30分			
⑤ グループによるドキュメント制作					GoogleWorkspaceのアプリ「ドキュメント」の活用	【予習】30分 【復習】30分			
⑥ プレゼンテーション技法とPowerpointによるスライド作成(基本的な機能)の習得					PowerPointの基本機能を理解	【予習】30分 【復習】30分			
⑦ Powerpointによるスライド作成(表、グラフの挿入、アニメーションの活用)					PowerPointの実用的機能を理解	【予習】30分 【復習】30分			
⑧ グループワークによる発表スライドの制作					GoogleWorkspaceのアプリ「スライド」の活用	【予習】30分 【復習】30分			
使用テキスト: イチからしっかり学ぶ! Office基礎と情報モラル Microsoft365・Officeバージョンフリー【NESS付】ISBN:978-4-911200-06-3 noa出版					その他参考文献など:				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 授業での演習時間が少ないので必ず予習・復習をすること。グループでドキュメント制作をするので、チームワークのスキルを磨くこと。									